



今回は、先日職場体験に来てくれた
中学生のオススメ本も紹介していまーす♪

NO.83

図書館だより

坂町マスコットキャラクター
坂 うめじろう

坂町立図書館

令和6年(2024年)10月

おすすめの本

[91イ] は背ラベルです

～ヤングアダルトコーナーより～



『意味がわかると鳥肌が立つ話』

蔵間 サキ/編著

toai/絵

学研プラス



[91イ]

ある富豪が仲の悪い息子たちを集めてこう言った。
「一本の矢は簡単に折れない。一人の力では無理でも、三人が力を合わせれば強大な力になる。お前たちも力を合わせて困難に立ち向かうのだぞ」息子たちは父親の言葉を胸に刻んだ。その後、富豪は強盗に襲われ、亡くなる。この話の意味とは！？



『フレーフレー！就活高校生
高卒で働くことを考える』

中島 隆 /著

[36ナ]

就職を希望する高校生が働く事のイメージを膨らませ、自分に合った就職先が選べるよう、今の時代に高卒で働く事を様々な観点から考察。実際の現場のインタビューも紹介。将来に向けて考えるきっかけが見つかるかも！

～一般書架より～



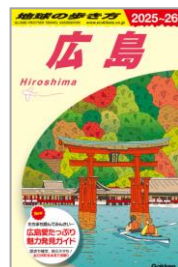
『赤ずきん、
旅の途中で死体と出会う。』

青柳 碧人/著



[913ア]

クッキーとワインを持って、旅に出た赤ずきん。その途中でいろいろな事件に遭遇し、次々と解決！「シンデレラ」「ヘンゼルとグレーテル」「眠り姫」「マッチ売りの少女」など、世界の童話をベースにした連作短編ミステリ！



『地球の歩き方 広島
2025～2026』

地球の歩き方編集室/著

[290チ]

「地球の歩き方国内版」シリーズについて広島版が登場！宮島、お好み焼き、広島カープの情報はもちろんのこと、バイサイドビーチ坂、横浜公園の紹介にようようまつりも掲載。細部まで「広島愛」がしみわたる一冊。



2024 読書週間

「この一行に逢いにきた」

本の中にグッとくる一行があって、何度も何度も目で見たり、ついには暗記してしまう。作者はこの一行のためにこの本を書いていて、読者はこの一行に出逢うため読んでいるのだと思うとき、幸福になる自分がいます。

(今年の標語の作者 中山実穂さんの言葉より)

オススメ図書コーナー

「お風呂が楽しくなる本」

だんだんと寒くなってきたこの時期の夜には、ゆったりとお風呂に浸かってボーっとしていただきます。絵本の世界では人間だけでなく、食べものや空想の生き物もお風呂を堪能しています。読むだけでゆったりくつろげる気持ちになれる絵本たちで、長い夜を堪能するのはいかがでしょうか。

展示コーナー

「ごはんのお伴にいいおかず」